



ジェンダー社会科学研究センター

Center for Gender Research and Social Sciences
Hitotsubashi University, Graduate School of Social Sciences

CGraSS 公開ワークショップ

講師: 根本宮美子さん

(ウェスタン・ケンタッキー大学社会学部准教授)

Kumiko Nemoto, Ph.D.

Assistant Professor Department of Sociology Western Kentucky University

ジェンダー領域で学位論文を書く ——『Racing Romance』を語る——

テキサス大学オースティン校でジェンダーと人種問題に関する博士論文を執筆された根本宮美子さんに、博士論文のテーマの設定と研究を行っていく上で重要と思われることについてご講演いただきます。

具体的には、

- 1) アメリカ大学院のしくみと技術的側面: 良い点、問題点など
- 2) 研究過程における自己(研究者、個人)の位置の認識と相対化の重要性: なぜこの問題に取り組むのかということを経験者としてだけでなく、社会で生きるものとして時代や社会を相対化しながら意識することの大切さ
- 3) コミュニケーションと伝達の場の活用: 指導して下さる先生方や大学院の友人、学会でお会いする方々に自分の研究を知ってもらい、助言や協力をいただくというコミュニケーション力の重要性についてお話いただく予定です。

奮ってご参加ください。予約は不要です。

● **司会: 木本喜美子さん**

(一橋大学社会学研究科・教授)

● **日時: 7月2日(金) 16:30~18:30**

● **場所: 一橋大学東キャンパス**

マーキュリータワー4F 3406 教室

* **連絡先: ジェンダー社会科学研究センター**

cgrass@soc.hit-u.ac.jp

◇講師プロフィール◇

ジェンダー、セクシュアリティ、人種とエスニティ、家族、労働という広い領域をカバーしているアクティブな社会学者。著書に『Racing Romance: Love, Power, and Desire Among Asian American White Couples』(Rutgers University Press, 2009)がある。アメリカ社会学会では Sex and Gender セクションの最優秀書籍審査委員や、同学会の Race, Gender and Class セクションの学生最優秀論文賞審査委員などで活躍